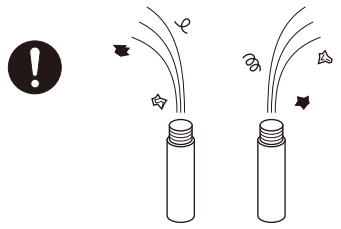
取付・設置説明書　安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した ⚠ **注意**は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●取付・設置完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法を説明してください。また、この「取付・設置説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管していただくように依頼してください。
●取付・設置は、専門業者にご依頼ください。
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

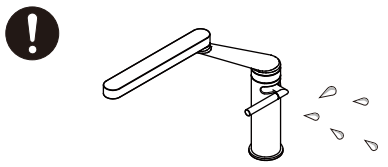
⚠ 注意

水栓を取付ける前に、配管内のゴミ等を完全に取り除いてください。



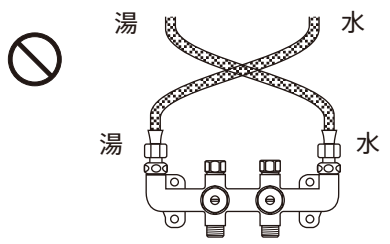
水漏れが発生し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

取付・設置完了後は、配管接続部および器具から水漏れが無いことを確認してください。



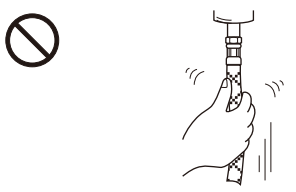
漏水で、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

湯水を逆に配管しないでください。



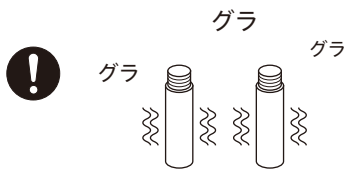
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

取付け後に、ブレードホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。



接続部分に負荷がかかり、漏水して家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

水栓を固定する配管はしっかり固定してください。

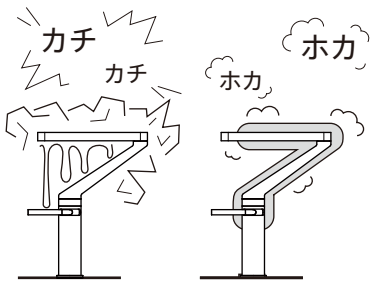


接続部分がゆるみ、漏水して家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

やけどの恐れがありますので、やけどの恐れが無いところまで水圧変動を押さえた配管設備にしてください。

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓を布等の保温効果があるもので包んでください。



凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

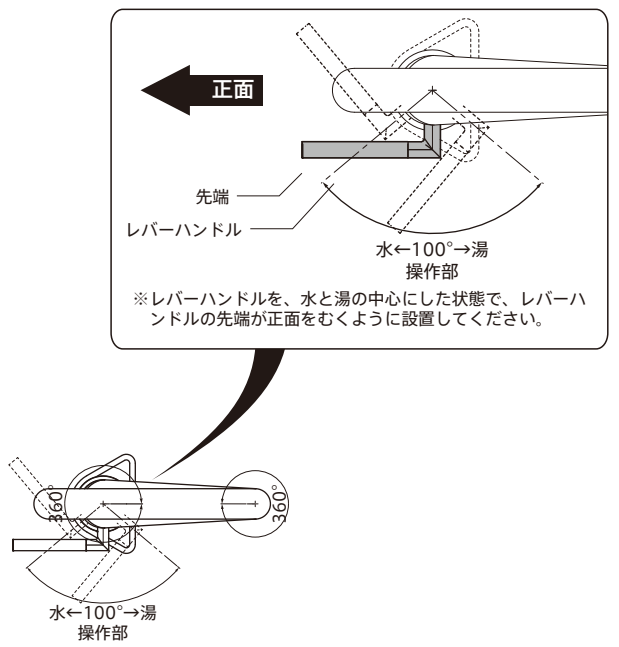
仕様

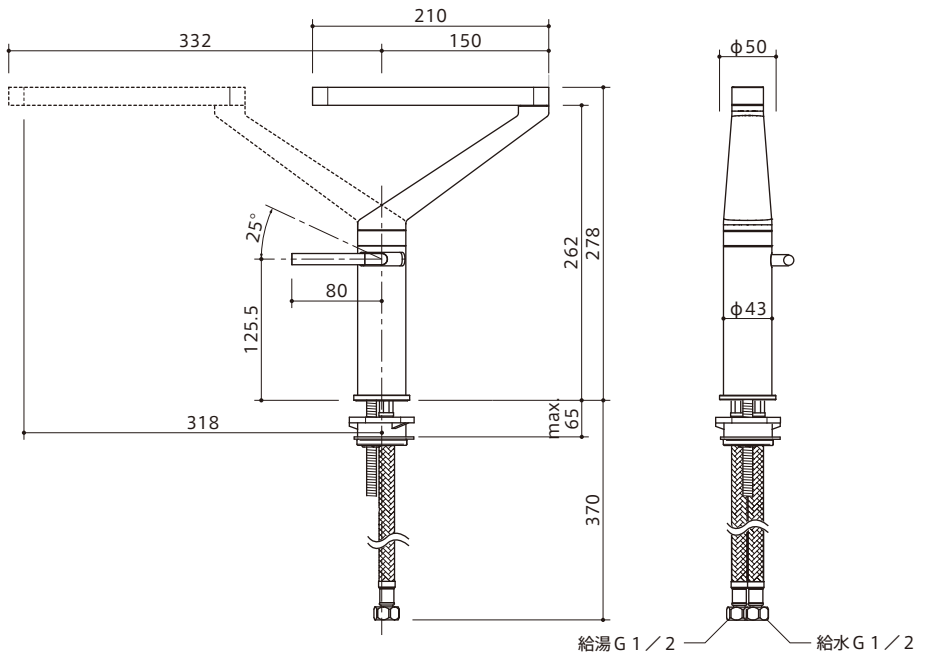
給水・給湯圧力	推奨操作水圧	0．2～0．4MPa
	最低必要水圧	0．05MPa
	最高水圧	0．5MPa
最高給湯温度		80℃以下
推奨給湯温度		65℃
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
用　　途		一般住宅用

取付け前のご注意

・給水圧力が0．5MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して推奨操作水圧（0．2～0．4MPa）に減圧してください。
・給水圧力は給湯圧力より高くするか同等になるようにしてください。
・誤作動などによるやけどを防止するため、65℃給湯をお奨めします。
・給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

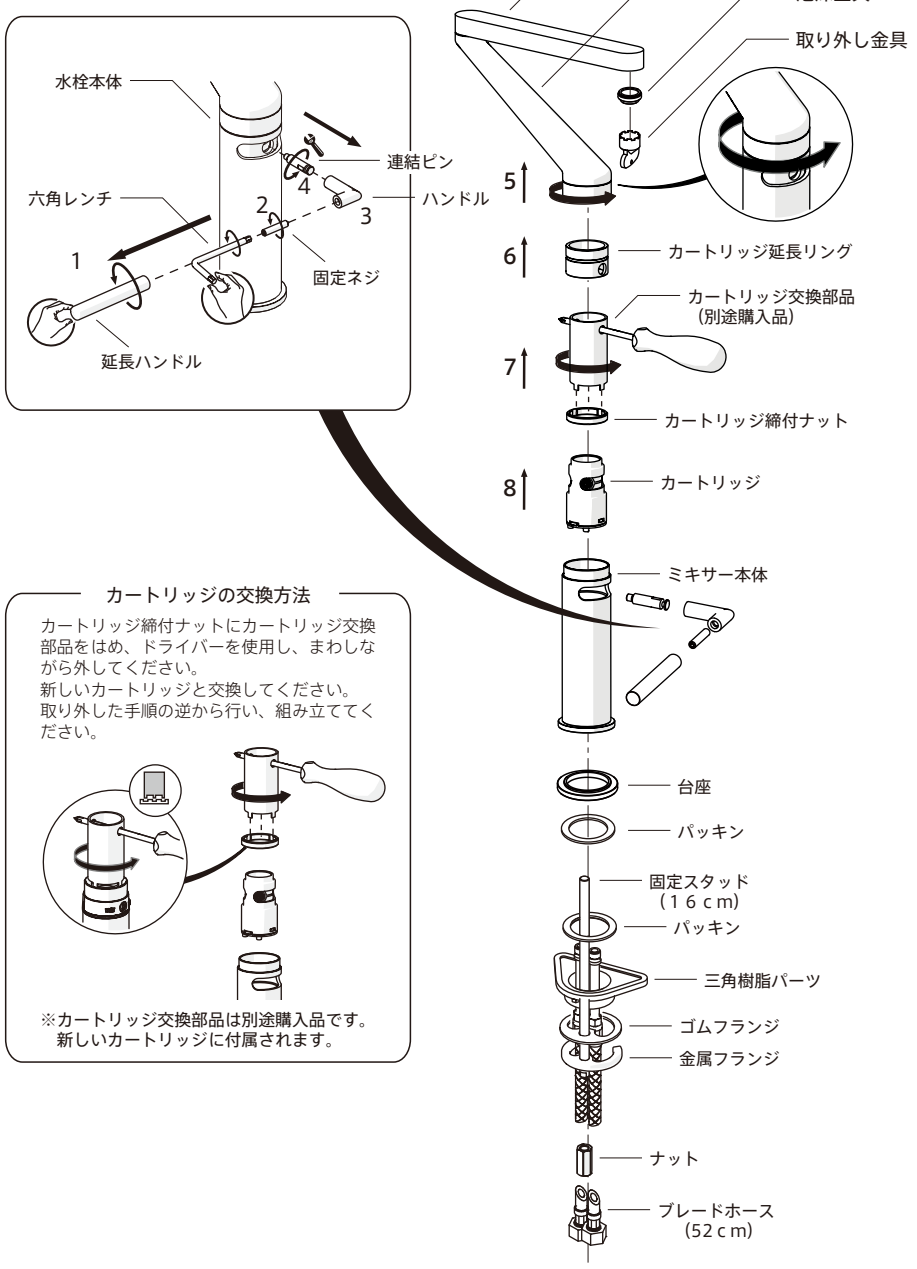
外観寸法図





分解図

・万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



カートリッジの交換方法

カートリッジ締付ナットにカートリッジ交換部品をはめ、ドライバーを使用し、まわしながら外してください。
新しいカートリッジと交換してください。
取り外した手順の逆から行い、組み立ててください。

※カートリッジ交換部品は別途購入品です。
新しいカートリッジに付属されます。

水栓の取付け　1 - 1

■損傷を避けるため、接続前に通水してください。
■取付け順に従って確実に取付けてください。
■取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
■水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

1．水栓本体にブレードホースと固定スタッドを取付けます。（図１）
※　**ブレードホースにゆるみが無いことを必ず確認してください。**
2．水栓本体に台座とパッキンを取付けます。（図１）
3．水栓の向きはレバーハンドルを水と湯の中心にした状態でレバーハンドルの先端が正面をむく位置です。(図３)
4．水栓本体を水栓取付穴に差し込み、天板裏面より、固定スタッドとブレードホースに、パッキンと三角樹脂パーツとゴムフランジと金属フランジを通します。（図２）
5．水栓の台座+パッキンと水栓取付穴のセンターを合わせ、さらにパッキン+三角樹脂パーツのセンターを合わせて、三角樹脂パーツの先端を手前に向けます。（図4）
6．天板裏面から見た、三角樹脂パーツ/ゴムフランジ/金属フランジの納まりは（図５）です。
※　**三角樹脂パーツのフランジにゴムフランジと金属フランジが重なっていることを必ず確認してください。**
7．固定スタッドに付属のナットを締付けて固定します。（図２/図５）

図１

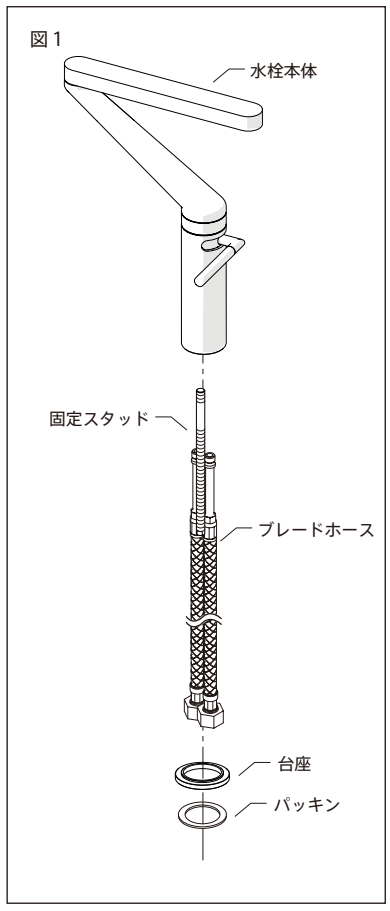
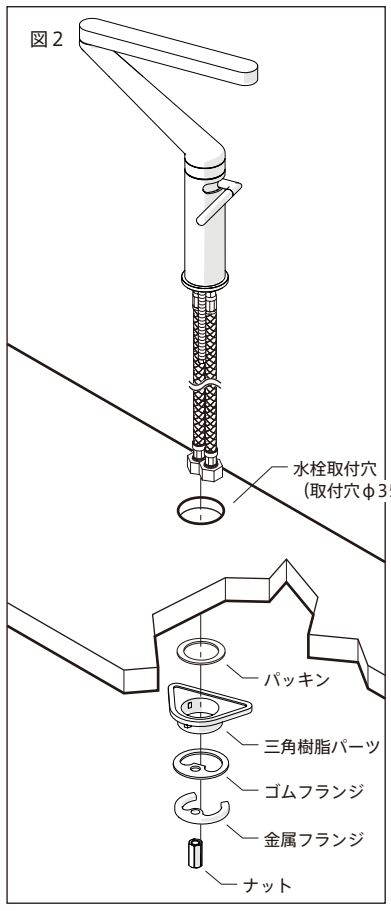


図２



水栓の取付け　1 - 2

※製品の特性上方向性がありませんが、
レバーハンドルの方向を正面にむけて設置してください。

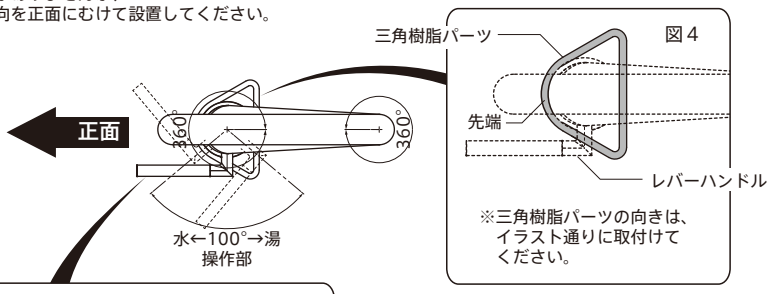


図４

図３

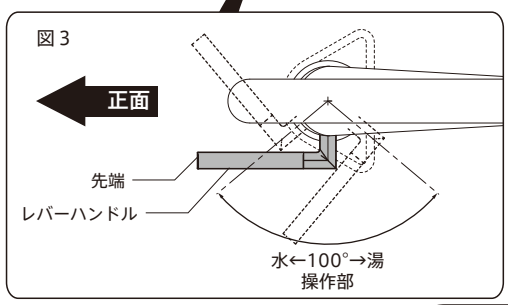
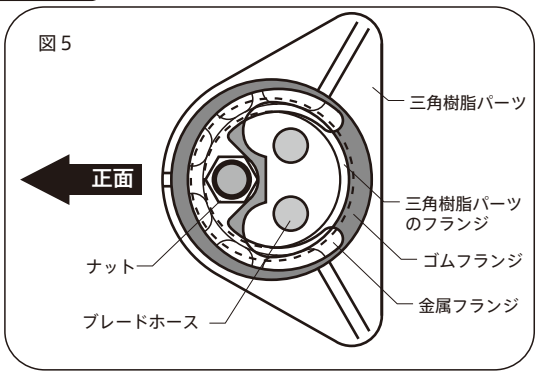


図５



水栓の取付け　2

・ブレードホースの袋ナットを止水栓に固定します。
（図６、７）
注意：ブレードホースは確実に固定してください。

図６

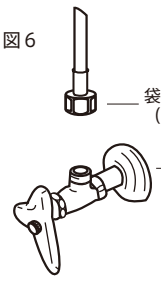


図７

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

快適なキッチンのススメ
トーヨーキッチンメンテナンス　www.tk-maintenance.com
TOYO KITCHEN STYLE 商品を気持ちよくご使用いただけるように、
トーヨーキッチンメンテナンスでは修理またはパーツ販売を承ります。

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。
アクセスはこちらから →

株式会社 トーヨーキッチンスタイル
〒107-0062　東京都港区南青山3-16-3
www.toyokitchen.co.jp

ユーザーサポートセンター
お問い合わせ　info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5771-1040　名古屋 052-709-1040　大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040　金　沢 076-264-1040　岡山 086-243-6111

P9WP-TRS456
15.6